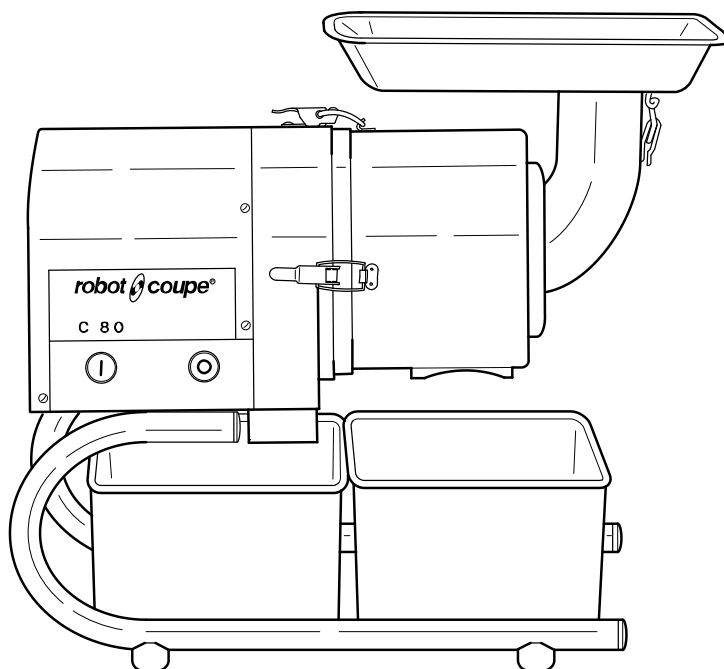


オートマチックシノア 【ロボクーブ】

C-80（業務用）

robot coupe®

取扱説明書



このたびは、当社のロボクーブ オートマチックシノア（C-80）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

本機で調理できないもの

お願い

食材以外のものは調理しないでください。

羽根ゴムやストレーナーを変形したり、破損したりする原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、故障の原因にもなります。

リンゴや梨、イモ類、根菜などのような固い食材

固い食材は、「ロボクーブ」などのミキサーで下処理をしてから本機で調理してください

固い食材をそのまま本機に使用されますと、攪拌羽根の羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

生のカボチャやさつま芋、根菜などのような固い食材

カボチャやさつま芋、根菜などは、下処理をして柔らかくしてから本機で調理してください

固い食材をそのまま本機に使用されますと、攪拌羽根の羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

粘り気の強い食材

粘り気の強い食材は、本機で調理しないでください

攪拌羽根の羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

50℃を超えている熱い食材

50℃を超えている熱い食材は、50℃以下に冷ましてから本機で調理してください

熱い食材を調理すると、攪拌羽根の羽根ゴムが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

攪拌羽根の羽根ゴムの交換について

攪拌羽根の羽根ゴムの交換方法については、必ず「羽根ゴムの交換方法」(14ページ)を参照しておこなってください

誤った交換をおこなわれますと、羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

もくじ



安全上のご注意.....	1～5
各部の名称.....	6
据付けについて.....	7・8
操作手順.....	9～11
各 부품の分解のしかた.....	12・13
羽根ゴムの交換方法.....	14・15
お手入れ.....	16～18
故障の診断と手当.....	19・20
年に1～2回の点検.....	21
仕様.....	25
梱包内容一覧.....	26
オプション.....	26
保証書（別添付）について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間.....	27

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気、水禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気、水禁止

60Hz地区の場合、別置専用トランスを湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

別置専用トランスや電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

60Hz地区の場合、別置専用トランスに水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。

⚠ 警告



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



連絡

本機専用ブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグ抜く

異常時は、停止スイッチ『⊙』(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くか、本機専用ブレーカーを『OFF(切)』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



換気

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の連続運転スイッチを押したり、コンセントから電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



パチン錠留める

ご使用前に、ボウル用パチン錠とホッパー用パチン錠は、確実に留めること

運転中にボウルが外れますと、ケガをする原因になります。
ボウルの破損や、機械の故障の原因にもなります。



挿入禁止

本機の動作中は、ホッパーの投入口や、吐出口から手、指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。
羽根ゴムや箸、スプーンが破損した場合は、異物混入の原因になります。

⚠ 警告



落とさない

本体から取り外したボウルやホッパー、攪拌羽根は、落とさないようにすること
落下させたりしますと、ケガの原因になります。



置場所

本体から取り外したボウルやホッパー、攪拌羽根は、丈夫な台の上に置くこと
転倒したり、落下したりしますと、ケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと
修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと
改造をされると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること
据え付けに不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること
放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと、転倒、落下など
によるケガの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと
落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、
感電の原因になります。

⚠ 注意



禁止

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂の部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の連続運転スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



プラグ抜く

お手入れのときや点検のときは、必ず停止スイッチ『⊙』(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグを抜くか、本機専用ブレーカーも『OFF(切)』にすること

誤って連続運転スイッチに触れた場合、ケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因にもなります。



洗浄、清掃

攪拌羽根、ストレーナー、ボウル、ホッパー、容器、果汁カス吐出口内部、モーター軸など食材が接する部分は使用後、必ず洗浄、清掃すること

洗浄、清掃しないと、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



洗い流す

洗剤を使って洗った部品は、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



プラグ抜く

ご使用後は、安全のため停止スイッチ『⊙』(赤色)を押して「OFF(切)」にし、コンセントから電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



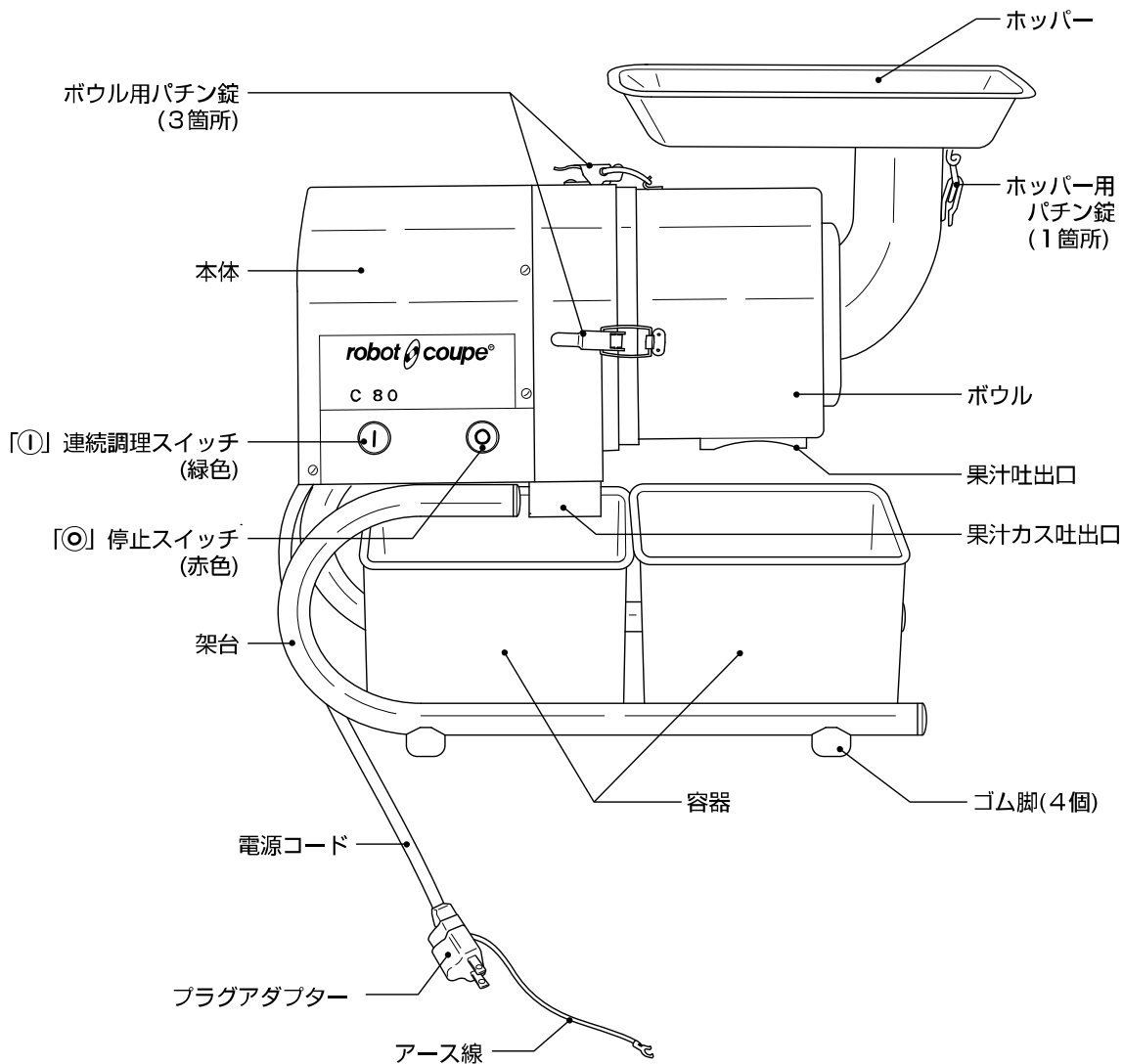
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

本機は、本機は、水分の多い果物類や、コーンスープなどの食材を、液体物と固形物に分離する機械です。

液体物と固形物に分離以外には使用しないでください。



据付けについて

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントに直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



湿気の多い所や、水などがかかり易いところに据え付けないこと
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

⚠ 注意



丈夫で平らな台の上に水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒によるケガなどの原因になります。

作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

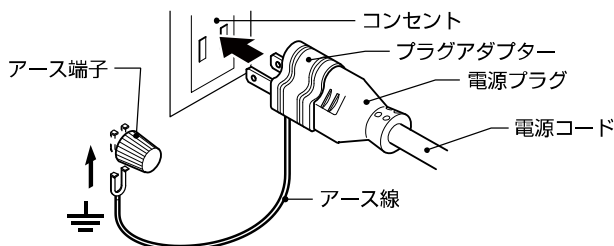
スイッチ部が正面にくるように据え付けてください

本機の電源コードを設備側のコンセントに接続する際、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.8m

電源コードのアース線を設備側のアース端子に接続してください

アース線は、電源コードより出ている緑色の線です。



お願い

50Hz 地区は、電源プラグの先に取り付けたプラグアダプターのアース線を設備側のアースに接続してください。

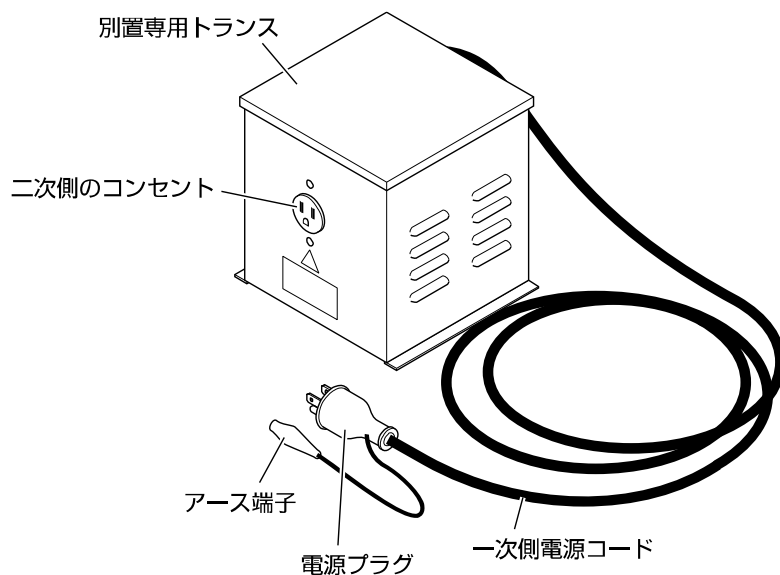
お願い

60Hz 地区は、付属の別置専用トランスをご使用ください。

60Hz地区では、必ず付属の別置専用トランスをご使用ください。

別置専用トランスを使用しないと、本機のモーターが起動しない原因になり、故障の原因にもなります。

別置専用トランスの一次側電源コードの電源プラグを設備側の専用コンセントに接続し、本機の電源コードを別置専用トランスの二次側のコンセントに接続してください。



⚠ 注意



別置専用トランスは、絶対に水の掛からない場所に据え付けてください。
水がかかると漏電、ショート、感電の原因になります。

操作手順

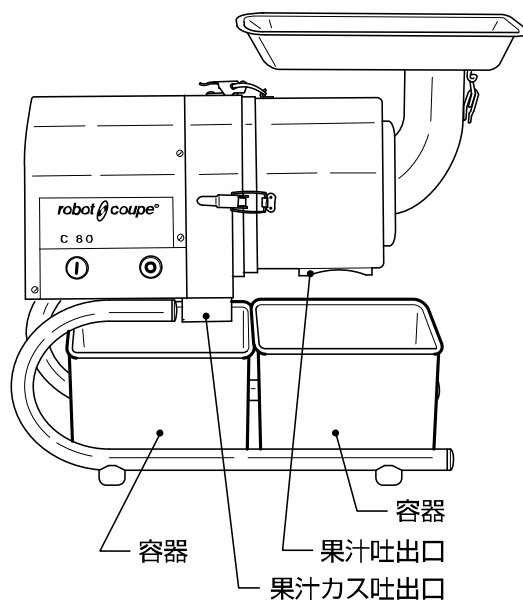
本機は、本機は、水分の多い果物類や、コーンスープなどの食材を、液体物と固形物に分離する機械です。

液体物と固形物に分離以外には使用しないでください。

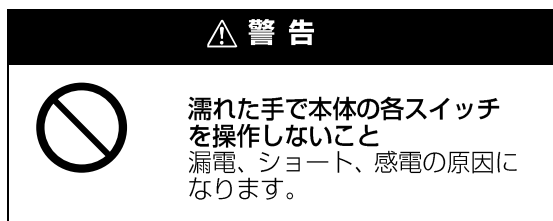
1. ご使用前に、「お手入れ」(16ページ)を参照して、ホッパー、ボウル、攪拌羽根、ストレーナー、容器、果汁カス吐出口内部をきれいに洗浄、清掃してください

2. 果汁吐出口の下に、果汁用の容器(付属品)を置いてください

3. 果汁カス吐出口の下に、カスを受ける容器(付属品)を置いてください



4. 連続運転スイッチ『①』(緑色)を押してください



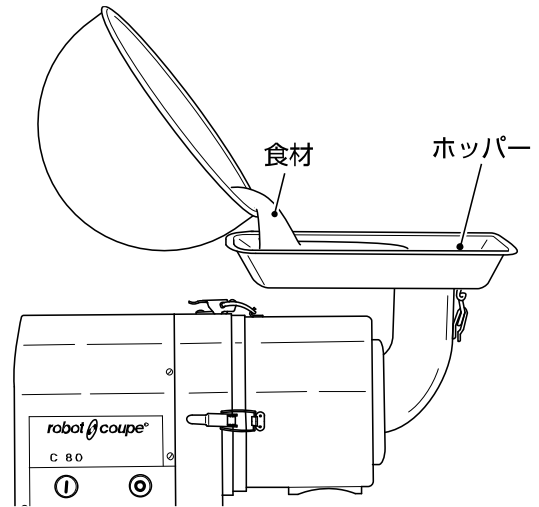
攪拌羽根が回転します。

お願い

調理をするときは、必ず連続調理スイッチ『①』(緑色)を押してから、食材を投入してください。

先に食材を入れてから、連続調理スイッチ『①』(緑色)を押すと、モーターに負荷がかかり故障の原因になります。

5. 調理する食材をホッパーに入れてください



お願い

リンゴや梨、イモ類、根菜などのような固い食材は、「ロボクーブ」などのミキサーで下処理をしてから本機で調理してください。

固い食材をそのまま本機に使用されますと、攪拌羽根の羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

生のカボチャやさつま芋、根菜などのような固い食材は、下処理をして柔らかくしてから本機で調理してください。

固い食材をそのまま本機に使用されますと、攪拌羽根の羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

粘り気の強い食材は調理しないでください。

攪拌羽根の羽根ゴムやストレーナーが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

動作中に機械が停止する原因になり、機械の故障の原因にもなります。

温度の高い食材は調理しないでください。

熱い食材は、50℃以下に冷ましてから調理してください。

熱い食材を調理すると、攪拌羽根の羽根ゴムが変形、破損する原因になります。

羽根ゴムが破損した場合、異物混入の原因になります。

1回の運転は、長くても20分以内にしてください。

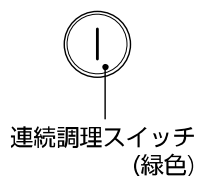
20分を超える時間運転した場合は、機械を止めて5分～10分程度休ませてください。

1時間あたりの調理量の目安

食材		調理量
果肉	いちご	60kg / h
	トマト	60kg / h
	メロン	40kg / h
野菜のムース	アスパラガス	40kg / h
	人参	40kg / h
スープ	魚類	60L / h
	貝類	60L / h
各種ソース		60L / h

果汁吐出口からは果汁が、果汁カス吐出口からはカスが出てきます。

6. 調理が終わりましたら、停止スイッチ『○』（赤色）を押して機械を止め、コンセントから電源プラグ（プラグアダプター付）を抜いてください



各部品の分解のしかた

⚠ 警告



各部品を分解するときは、必ず停止スイッチ『◎』(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと
誤って連続運転スイッチに触れた場合、ケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。

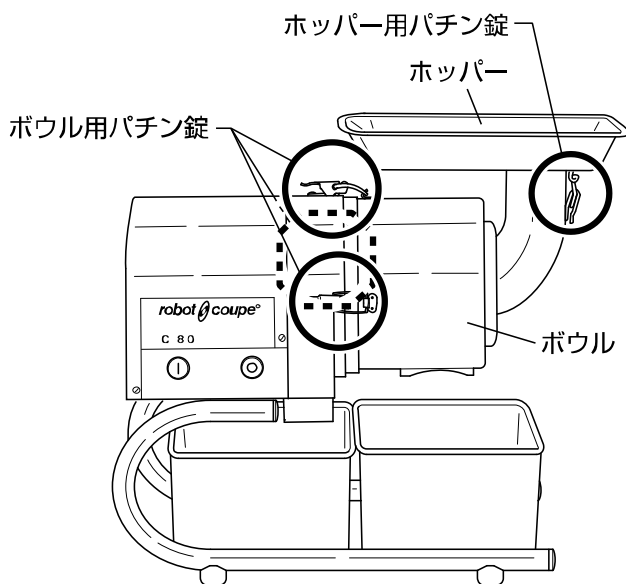
1. 停止スイッチ『◎』(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください

2. ホッパーを取り外してください

ホッパー用パチン錠(1箇所)のロックを外し、ホッパーを上方に引き抜いてください。

3. ボウルを取り外してください

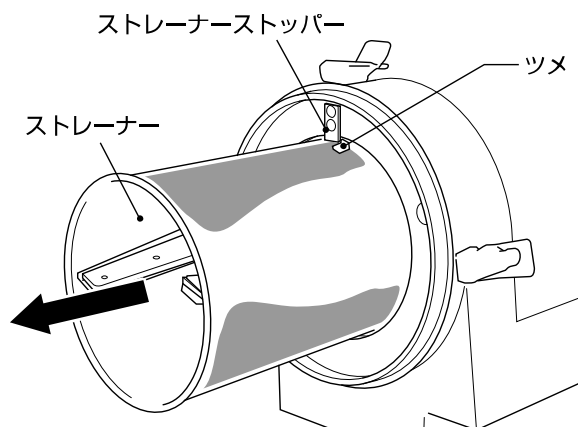
ボウル用パチン錠(3箇所)のロックを外し、本体よりボウルを引き抜いてください。



4. ストレーナーを本体より引き抜いて外してください

ストレーナーを取り外す際、攪拌羽根を横向き(水平)にして、ストレーナーの上端を少し持ち上げてください。

ストレーナーストッパーからロックが外れ、攪拌羽根に当たることなく引き抜くことができます。

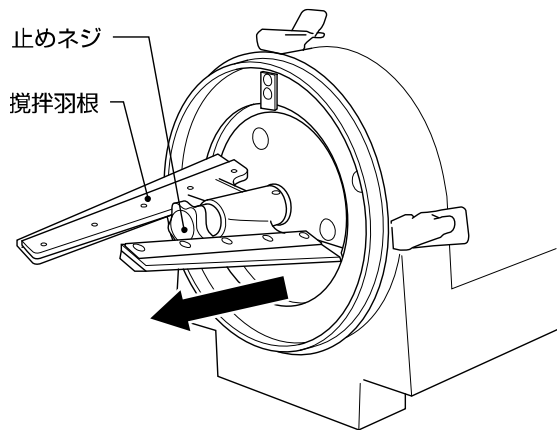
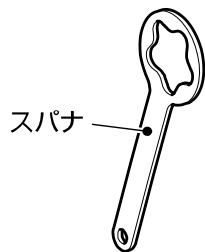


5. 攪拌羽根を取り外してください

攪拌羽根の止めネジを、反時計方向に回して取り外し、モーター軸より攪拌羽根を引き抜いてください。

メモ

止めネジの取り外すときや、取り付けるときは、付属のスパナをお使いください。



各部品の組み付けは、分解の逆の手順でおこなってください。

羽根ゴムの交換方法

食材の仕上がりが悪い場合、羽根ゴムとストレーナーの当たりが悪くなっている可能性があります。

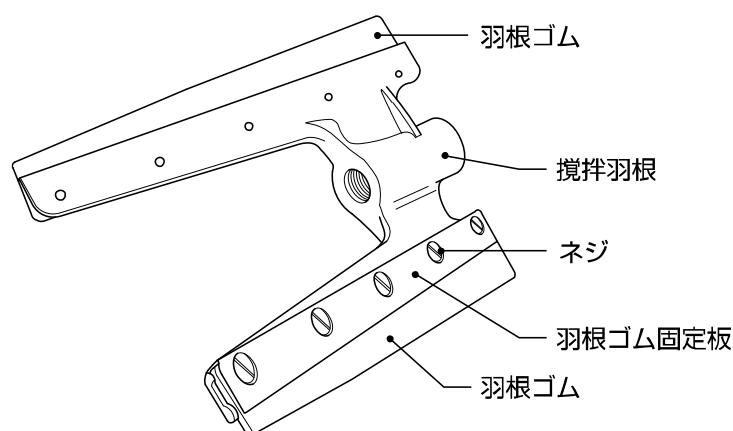
食材の仕上がりが悪くなってきたときは、羽根ゴムを交換してください。

お願い

羽根ゴムの交換は、必ず2枚とも一緒に交換してください。

片側だけ交換されますと、回転ムラや調理ムラ発生の原因になります。

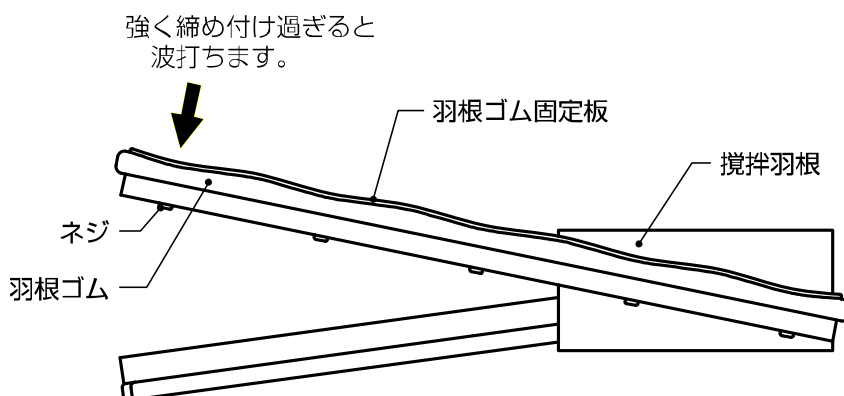
1. 「各 부품の分解のしかた」(12ページ)を参照して、本機から攪拌羽根を取り外してください
2. 攪拌羽根の羽根ゴム固定板を固定しているネジ(各5箇所)をドライバーですべて取り外してください



3. 摩耗した古い羽根ゴムを取り外して廃棄してください
4. 攪拌羽根に新しい羽根ゴムを取り付けて、羽根ゴム固定板ではさみ込んでください
5. 「2.」で取り外したネジ(各5箇所)を取り付けて固定してください

ネジを締め付ける際、必要以上に強く締め付けしないでください。

強く締め付け過ぎると、羽根ゴムが波を打ち、正しく調理ができなくなります。



6. 本機に攪拌羽根、止めネジ、ストレーナー、ボウルを元通りに取り付けてください

7. 慣らし運転をおこなってください

お願い

新しい羽根ゴムは幅が少し大きいため、羽根ゴムを交換した後は、必ず本機に取り付けて、5分程度の慣らし運転をおこなって大きさを調整してください。

慣らし運転をおこなわずに、食材を調理されますと、羽根ゴムの破片が食材に入る恐れがあります。

メモ

慣らし運転中、羽根ゴムとストレーナーの摩擦によって、ゴムのにおいがしますが、異常ではありません。

食材を投入していない状態で、連続調理スイッチ『①』(緑色)を押して、本機を動作させてください。

約5分後、停止スイッチ『②』(赤色)を押して止めてください。

8. 「お手入れ」(16ページ)を参照して、攪拌羽根、止めネジ、ストレーナー、ボウルをきれいに洗浄してください

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

- 初めて機械を使用する場合。
- 調理後、速やかに。
- 繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



お手入れのときや点検のときは、必ず停止スイッチ『◎』(赤色)を押して機械を止め、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと
誤って操作スイッチに触れた場合、ケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

攪拌羽根の羽根ゴム、止めネジ、容器は、食器洗浄機などは、使用せずに50℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

部品の錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、樹脂の部品を損傷します。

洗浄後は、十分すすいであらってから速やかに水気を拭き取り、完全に乾燥させてください。

洗浄剤や水などが付着したまま放置されますと、部品の錆および腐食の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)でも除菌洗浄剤(FMI除菌洗浄剤)を取り扱っています。

ご購入の場合は、弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)または納入代理店へご連絡ください。

お手入れのしかた

1. 「各製品の分解のしかた」(12ページ)を参照して、本体から、ホッパーとボウル、ストレーナー、攪拌羽根、止めネジ、容器を取り外してください
2. 水、または温水を流しながら、取り外した各製品をすすぎ洗いして付着した食材をあらかじめ流し取ってください
3. コンテナやシンクにぬるま湯を入れ、定められた使用濃度の分量の除菌洗剤を入れて溶かしてください
4. ホッパーとボウル、ストレーナー、攪拌羽根、止めネジ、容器を、除菌洗剤を入れたぬるま湯の中で布かスポンジを用いてきれいに洗ってください

お願い

金属製品の洗浄は、速やかにおこない、洗浄液や水、お湯に漬け置きしないでください。
漬け置きをしますと、金属部分が錆びる恐れがあります。

硬いタワシなどでこすると傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

5. 洗浄した各製品は、きれいな水、または温水で、洗剤成分が残らないように、十分すすぎ洗いをしてください
6. 各製品は、速やかに除菌済みのきれいな乾いた布などで水分を拭き取り、十分空気乾燥させてください
7. 乾燥した各製品にアルコール除菌剤をスプレーしてください
8. 本体の食材が接する部分、モーター軸部および本体外装部は、除菌洗剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、汚れをきれいに拭き取ってください

警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

モーター軸の根元に付いているオイルシールは、傷を付けないようにしてください。

オイルシールにキズが付きますと、ボウルから食材や果汁がモーター軸部から機械内部へ流れ込み、故障の原因になります。

9. 飲料用のきれいな水で絞った布で拭いて、完全に洗剤成分を拭き取ってください
10. 空気乾燥させてください
11. 本体を、アルコール除菌剤をしみ込ませた布などで拭いて除菌してください
12. 分解した各部品は、元通り組み立ててください

お願い

洗浄後、本機を保管される場合は、各部品をアルコール除菌剤で除菌してください。

本機を使わないときは、乾燥した場所に保管してください。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の停止スイッチ『◎』（赤色）を押して機械を止め、コンセントから電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
連続調理スイッチ『①』（緑色）を押しても動作しない。	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けている場合は、コンセントに接続されているプラグアダプターに、電源プラグを差し込んでください。
	ボウルは、正しくセットされていますか？	ボウルを正しくセットしてください。
	パチン錠は、正しくセットされていますか？	パチン錠を正しくセットしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	モーター保護装置が動作している可能性があります。	停止スイッチ『◎』（赤色）を押して機械を止め、電源プラグを抜いて、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	「OFF(切)」になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
調理中に本機が止まった。	本機が、異常に熱くなっていますか？	本機には、モーター保護装置が付いており、モーターが過熱した場合、自動的に機械が止まります。 モーター保護装置がはたらいて止まったときは、停止スイッチ『◎』（赤色）を押して、電源プラグを抜いてください。 モーターへの過負荷の原因を取り除いて、モーターを1時間以上休ませて冷ましてください。 モーターが作動できる温度まで冷めますと、モーター保護装置が自動的に復帰します。 電源プラグをコンセントに差込み、連続運転スイッチ『①』（緑色）を押して、正常に動作すればモーター保護装置は復帰しています。 復帰を確認後、改めて調理を始めてください。

状 態	確認 / 症状	手 当
本機から異常音が発生する。	丈夫なところに設置していますか？	丈夫なところに設置してください。
	据え付けが悪く、ガタついていませんか？	水平で平らなところに設置してください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	パチン錠は、正しくセットされていますか？	ボウルを正しくセットしてください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受部の不良の可能性があります。	
調理中に停止スイッチ『◎』(赤色)を押しても回転し続ける。	停止スイッチ『◎』(赤色)の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が『OFF(切)』になっていませんか？	漏電遮断器が『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが『OFF(切)』になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

年に1～2回の点検

電源プラグの点検（電源プラグ使用の場合）

次の項目を点検してください。

電源プラグが、専用のコンセントに差し込まれていますか？

他の機器との共用を中止し、専用のコンセントを用意してください。

電源プラグや電源コードに異常な発熱や破損、重いものが乗ったり、挟み込まれていませんか？

異常の場合は、すぐにお買上げ店へ修理を依頼してください。

電源プラグの刃と刃の取り付け面、コンセントにほこりがついていませんか？

ほこりがついている場合は清掃して取り払ってください。

アース線の点検

アース線が切れたり接続部が緩んでいませんか？

異常の場合は電気工事業者に修理を依頼してください。

Lined writing area with 23 horizontal dotted lines.

仕様

品名	オートマチックシノア 【ロボクーブ】	
型式	C-80	
外形寸法	幅 630・奥行 360・高さ 510mm	
電源	100V 50 / 115V 60Hz (60Hz地区は、別置専用トランス付属)	
電流	10 A (20分定格)	
消費電力	800 W	
安全装置	ボウル安全装置、モーター保護装置	
回転数	1,500 r.p.m. (50Hz) / 1,800 r.p.m. (60Hz) 【無負荷時】	
ストレーナー	メッシュ#1.0mm	
材質	ボウル	ステンレス (SUS304)
	本体	ステンレス
	ストレーナー	ステンレス
	トレイ	ポリプロピレン
	攪拌羽根	ステンレス、天然ゴム (羽根ゴム)
質量	19 kg	
電源コード	長さ : 1.8m (プラグアダプター付)	

お願い

本機では、50℃を超えている熱い食材は調理しないでください。

熱い食材を調理すると、攪拌羽根の羽根ゴムが変形、破損する原因になります。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

梱包内容一覧

パッケージには、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体（モーター部、ボウル、ホッパー、ストレーナー、攪拌羽根付）	1台
容器（果汁用、カス受け用）	2個
羽根ゴム（交換用予備）	2枚
スパナ	1本
プラグアダプター	1個
取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1部

別置専用トランス (60Hz地区用)	仕様	: 容量 1.5kVA、一次電圧 100V、二次電圧 115V
	外形寸法	: 幅 160・奥行 220・高さ 180mm
	質量	: 7.5kg
	電源コード	: 長さ 2.8m(一次側)、外径 ϕ 10.8mm

オプション

ストレーナー：メッシュ#0.5mm

ストレーナー：メッシュ#3.0mm

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

ストレーナー	羽根ゴム
容器	オイルシール

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>